

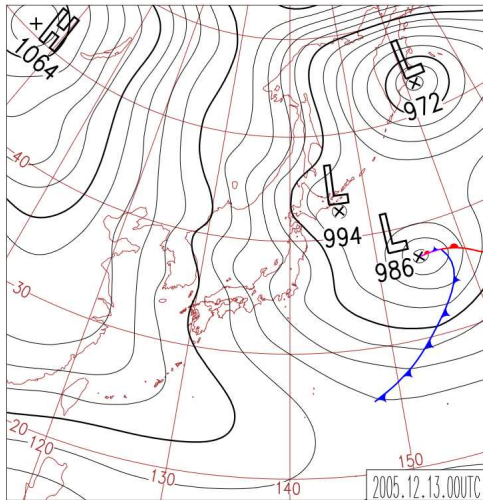
【平成18年豪雪】平成17（2005）年12月から平成18（2006）年3月にかけての大雪

12月～1月上旬を中心に記録的な大雪、除雪中の事故等による甚大な被害。

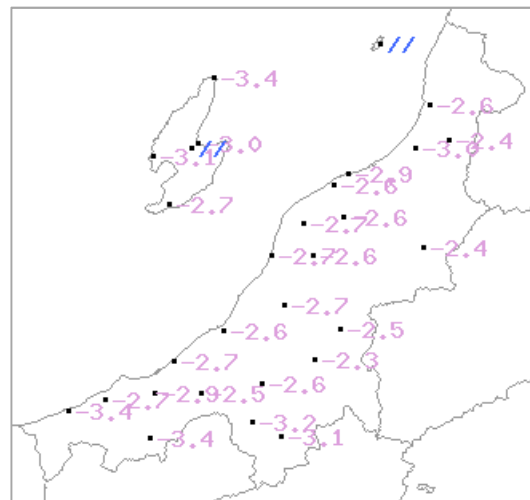
【概要】

平成17（2005）年の12月から翌年1月上旬にかけて、非常に強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置となる日が断続的にあらわれた。このため大雪となる日が多く、新潟県を含む日本海側の各地点では記録的な大雪と低温となった。1月中旬以降も大雪となる日がたびたびあったため、津南町では2月5日にこれまで最大記録を超える416cmの積雪を観測したほか、高田で162cm、湯沢で358cmと最深積雪を更新した。なお、特に12月は気温が低く、新潟県内全観測点で12月の月平均気温の低いほうからの極値を更新した。

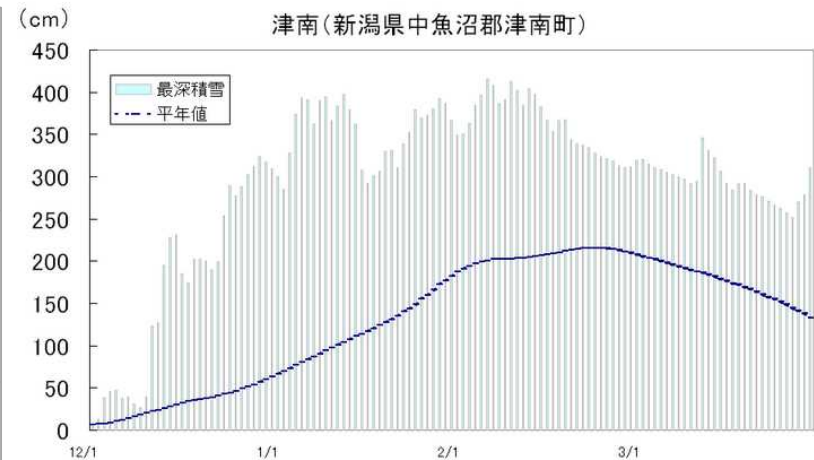
この記録的な大雪により、県内では、除雪作業中の事故や雪崩などにより、死者32名、重症114名、軽傷174名、住家全壊1棟、半壊2棟、一部破損86棟など人的被害や建物・施設の損壊が発生した。（被害状況：新潟県地域防災計画資料編）



地上天気図  
(2005年12月13日9時)



2005年12月の平均気温の平年差 (°C)  
平年値の統計期間 (1970～2000年)



津南の積雪の深さの推移  
2005年12月1日～2006年3月31日  
平年値の統計期間 (1970～2000年)